

浜松地域の経済動向

2022年4月を中心に

景気は持ち直しつつあるが、半導体不足による供給面での制約、原材料高などにより、一部に弱さが見られる。

自動車、二輪車の生産台数は半導体不足と原材料価格高騰の影響もあり減産となったが、需要は多く、納車が長期化している。

まん延防止等重点措置の解除で、運輸・観光は少しずつではあるが改善の兆しが見え始めた。

堅調に推移していた浜松管内の雇用情勢は、2カ月連続で全国および静岡県を下回った。

4月の企業倒産件数は、前月、前年同月を上回った。ガソリン代は170円台で高止まりしている。

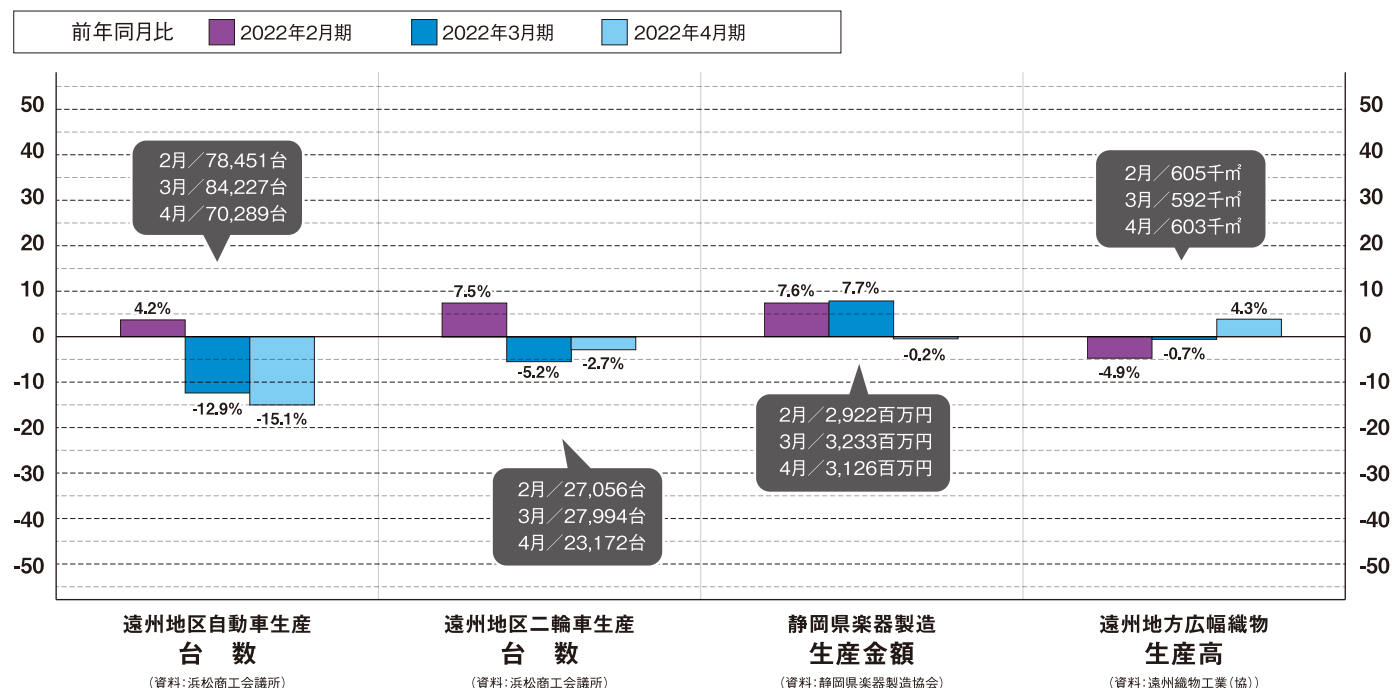
円安がさらに進行しており、原材料費や燃料費の上昇による物価への影響が懸念される。

2022.

7月

発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2022年4月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比15.1%減の7.0万台となった。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は11.7%減、小型四輪車は26.1%減、普通自動車は13.2%増となった。国内向けは22.7%減、輸出は14.4%増であった。先月に引き続き、国内向けは前年同月を下回り、輸出については6カ月ぶりに前年同月を上回った。依然、半導体不足と原材料価格の高騰が自動車生産に影響を与え、先行き不透明な状況が続いている。

二輪車



2022年4月における二輪車生産台数は前年同月比2.7%減の2.3万台となった。国内向けは5.6%減、輸出は2.3%減であった。国内向け、輸出ともに2カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下12.2%増、51cc～125cc以下21.1%増、126cc～250cc以下43.1%増、251cc以上12.7%減であった。二輪車も自動車と同様に半導体不足、原材料価格高騰の影響を受けている。

楽器



2022年4月における生産金額は前年同月比0.2%減の31.2億円となった。分野別に4月の生産金額を見てみると、ピアノ3.8%減、電子・電気ピアノ118.9%増、電子オルガン84.2%減、管楽器9.0%増となっている。先月に引き続き30億円超えとなり、需要は底堅く堅調に推移している。

繊維



2022年4月の生産高は前年同月比4.3%増の603千㎡となった。4カ月ぶりに前年同月を上回った。コロナ禍から人の流れが戻り、経済活動が正常化しつつある中で、衣料品向けの生地需要の回復が期待される。しかし、綿糸を筆頭に原材料価格の上昇、エネルギーコストの上昇が生産活動を圧迫している。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2022年4月におけるタクシー乗車人員は前年同月比14.9%増の28.6万人となった。まん延防止等重点措置が3月21日で解除され、買い物での利用者、病院の送迎などのお客さまが戻ってきている。

観光

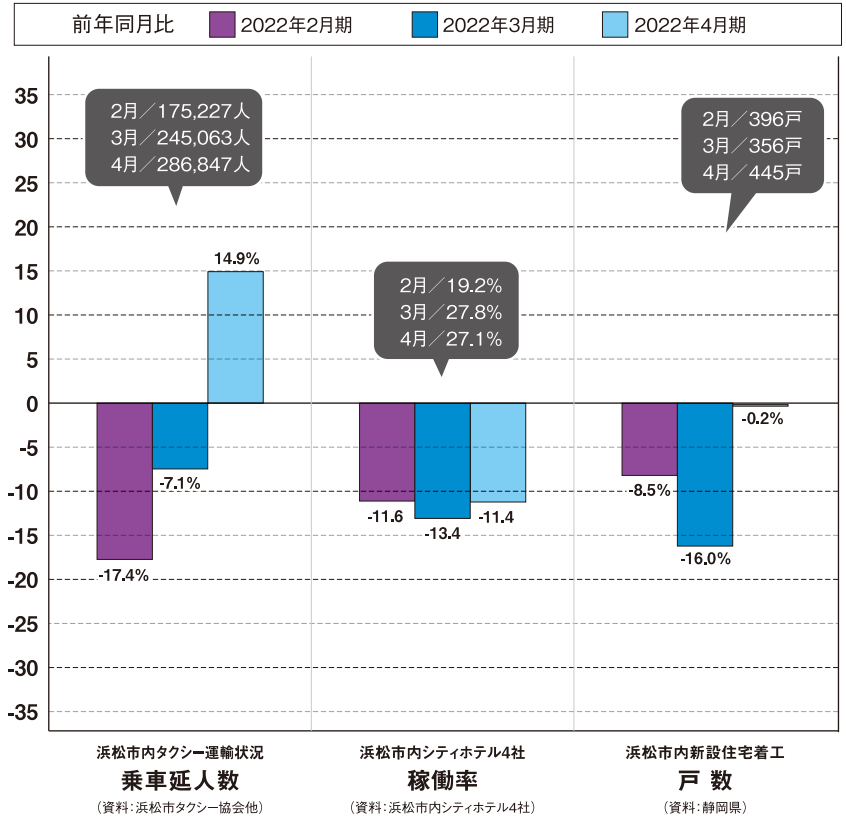


4月の浜松市内ホテルの稼働率は、前年同月より11.4ポイント低い27.1%であった。6カ月連続で前年同月稼働率を下回った。まん延防止等重点措置の解除で、スポーツ大会などが開催されるようになり、少しずつではあるが回復の兆しがみられる。「今こそしずおか元気旅」の影響もあり、比較的予約は伸びたが、週末に集約される傾向がみられた。

住宅着工



2022年4月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比0.2%減の445戸となった。持家・貸家では減少するも、分譲住宅(マンションを含む)が62戸の増加となり、全体では前年同月とほぼ同水準の着工件数であった。静岡県全体では225戸減少で前年同月比11.6%のマイナスであり、持家の着工が17.0%と減少が大きくなっている。静岡市も14.3%のマイナスであったなど、住宅着工の動きは鈍くなっている。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2022年4月の有効求人倍率は1.15倍となった。前年同月との比較では0.19ポイント上回った。前月との比較では0.05ポイント下回った。2カ月連続で前月を下回った。全国(1.23)との比較では0.08ポイント、静岡県(1.27)との比較では0.12ポイント下回った。

倒産企業



2022年4月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は9件、負債総額は14.5億円となった。前年同月との比較では倒産件数は1件増加した。前月との比較では5件増加した。静岡県全体の倒産件数は18件で、前年同月より5件減少したが、前月からは4件増加した。新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、原材料費や燃料費の高騰が続いており、今後の倒産件数増加が懸念される。

ガソリン価格



2022年4月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり172.8円となった。前年同月との比較では、22.3円上昇した。前月との比較では1.8円低下した。燃料価格変動緩和補助金の上限引き上げもあり、上昇は抑えられているものの、産油国の増産が進まず、3カ月連続で170円台での高止まりが続いている。

外国為替



2022年4月の外国為替は1ドル126.04円、前年同月と比較すると16.91円の大幅な円安となった。前月との比較でも7.53円の円安であった。米国の利上げにより日米金利差が拡大し金利の高いドルのニーズが高まっている。急激な円安進行による輸入物価上昇が懸念される。

